



尾久西だより

荒川区立尾久西小学校
発行日 令和5年4月28日
発行者 校長 大野 良子

No. 383 5月号

多くの人に支えられて

副校長 濱田 哲

令和5年度を迎え、1か月がたちました。尾久西小学校には、「真剣・本気・全力」という素敵な合言葉があります。この言葉通り、子供たちは様々なことに「真剣・本気・全力」で取り組んでいます。

4月24日に行われた1年生を迎える会では、5年生による花のアーチをくぐり、6年生が1年生の手をつないで入場し、和やかな雰囲気の中、会が始まりました。司会進行や楽しいゲームを代表委員が行い、3年生は素敵な招待状を、4年生はプレゼントのメダルを作りました。その思いに込めるような、1年生のお礼の歌声が体育館中に響き渡りました。終わりの言葉を言った2年生代表児童の「楽しかったですか？」という問いに対して、元気よく「はい！」と答える1年生と、それを嬉しそうに聞く上級生の姿が印象的でした。学校では、子供たちはもちろんのこと、企画や準備、指導をする先生など、一つの行事をめぐって、多くの人に関わって成り立っています。

学校には、事務、主事、栄養士、調理員、専門員、支援員、介助員、補助員、司書、カウンセラー、スクールサポートスタッフ、安全推進員、交通指導員、安全パトロールなど、教諭以外にも、多くのスタッフがいます。それぞれが、「子供たちの成長のために！」「子供たちの笑顔のために！」という思いのもと、責任感をもって職務を遂行しています。

私はこの4月から昇任して副校長となりましたが、学校のスタッフ以外にも、実に多くの方が学校を支えてくださっていることを実感しています。PTA役員、教育機関や関係機関、町会や自治会、PTA顧問の皆様など、その一人一人が、「子供たちのために」「学校のために」「母校のために」という熱い思いをもって活動してくださっていることが伝わり、感動するとともに、身が引き締まる思いです。

そうした皆様の思いを受け止め、子供たちの成長のために、そして、尾久西小学校に関わる全ての人が笑顔になるよう、教育活動を進めてまいります。引き続き、御理解・御協力、そして、御声援の程よろしくお願い申し上げます。

～家読（うちどく）のすすめ～

荒川区では、「読書を愛するまち・あらかわ」宣言に基づき、子供たちの豊かな心を育むために、本と出会い、読書の大切さや楽しさを実感できるよう読書活動を推進しています。ゴールデンウィークも、親子での家読を通して、コミュニケーションを深めてください。詳しくは、各家庭に配布した「家読の取組について」をご覧ください。

